

文教厚生委員会視察研修報告

○日 時 平成30年8月20日（月）～8月22日（水）

- 研修先
- ・洛和ウィズ山科小山【幼老統合ケアの取り組みについて】
 - ・滋賀県 長浜市【小学校における給食費の無償化について】
 - ・兵庫大学健康システム学科生との意見交換
 - ・兵庫県 相生市【学校給食の無償化について（子育て支援事業含む）】

文教厚生委員会では、「生涯健康システムの構築について」及び「給食費の無償化について」を委員会の調査事項として、現在、調査・研究を進めている。今後、市への提言に向けて参考とするため、先進事例の視察を実施した。

○洛和ウィズ山科小山【幼老統合ケアの取り組みについて】

幼老統合ケアとは、高齢者と子どもが交流することで相互に良い効果があるとして、日常生活や行事を通して交流する取り組みである。洛和ウィズ山科小山は、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型グループホーム、デイサービスの3種類の介護サービスに地域学童クラブ（放課後児童クラブ）を加えた4つの事業を同じ敷地内で実施していた。

研修当日は、和やかな雰囲気子どもたちとお年よりが協力しておやつ作りを行っていた。少子化、核家族化が進む中で、こうした活動は日常生活における原点に立ち戻るための非常に大切なことではないか。



○滋賀県 長浜市【小学校における給食費の無償化について】

平成 27 年度に市長を本部長とする「長浜市子ども子育て支援・少子化対策推進本部」を設置し、「子育て世代にかかる経済負担」に着目して検討した結果、事業の1つとして平成 28 年 9 月（2 学期）より小学校での学校給食の無償化を実施。

無償化実施後に行った市民アンケートの中の「子育てにかかる経済負担の軽減」の項目では、満足度・重要度共に全体の平均を上回っており、継続の必要有と判断されていた。

○兵庫大学健康システム学科生との意見交換

兵庫大学健康システム学科では、全てのライフステージに相応しい知識・技術を持って健康社会の実現に貢献できるプロフェッショナルの育成を目的に、学生の資格取得に向け、専門的・実践的な内容で授業が行われている。地域とも連携を図っており、自治体のスポーツ推進委員に就任したり、運動機能に支障を来す前の予防を実施するための出前講座を出向いたりするなど、地域の運動機能向上の一助となっていた。

意見交換は「日ごろの運動不足を解消するためのアイデアは？」との議題で、2 グループに分かれワークショップ形式での意見交換会を実施した。学生の皆さんは、日頃から、運動と保健の2つの領域を中心に学んでおり、様々な画期的な意見も多く出された。普段の生活の中で、ちょっとした工夫をすることで、運動不足解消のためのきっかけが得られることを考えさせられた。調査を進めていく中で、若い人たちの考え方も多く取り入れていく必要性を痛感した。



○兵庫県 相生市【学校給食の無償化について（子育て支援事業含む）】

市長の公約である「まちづくりは人づくり」のもと平成 23 年 4 月に「相生市子育て応援都市宣言」をし、11 の定住促進関連事業を「11 の鍵」として事業展開している。給食費無償化は、この中の 1 つの事業である。財政を懸念する反対の声が多かったものの、市長のトップダウンで実施され、実施後の調査では、人口における社会増減がプラスに転じたり、将来人口推計における年少人口の推移が上方修正されたりするなど、効果が顕著に表れていた。一方で、他市町が同じ事業を実施してきたため市の特徴が薄れてきたことや、財政的に厳しくなっていることなど新たな課題も生じていた。

文教厚生委員会では、今回の視察を参考にしながら今後も市民との意見交換を繰り返し、市への政策提言に活かしていきます。